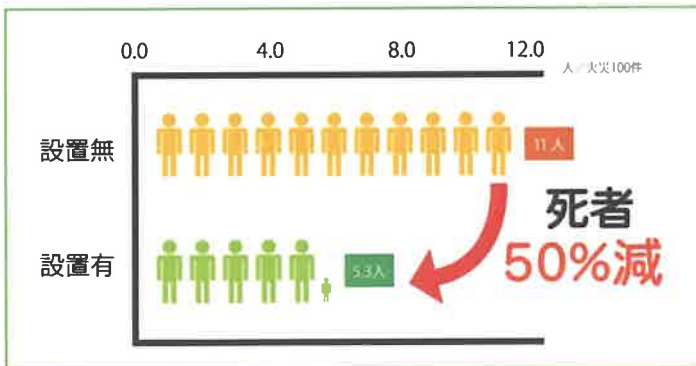


忘れていませんか？ 住宅用火災警報器の点検・交換！

- 点検は定期的（年2回）に
- 交換の目安は10年

住宅用火災警報器の効果にご注目

設置している場合は、いない場合と比べて死者の数は半減。
焼損床面積と損害額も大幅に減少。
住宅用火災警報器の設置で、火災の被害を少なくできます！



※平成29年から令和元年の火災報告から集計

いざという時に頼れる住宅用火災警報器

てんぷらを揚げているのに、火を消さずその場を離れてしまった…
タバコの火が座布団に落ちたのに、気づかなかった…
家族全員が寝ている夜中、放火された…
こんなとき、住宅用火災警報器がすぐに火災を警報でお知らせ！
初期消火や素早い避難をすることができます。



もしもの時に
住宅用火災警報器が
作動しなかったら…
そこで大切なのが、
点検と交換です。

誰でも簡単! 住宅用火災警報器の点検・交換

●点検は定期的に

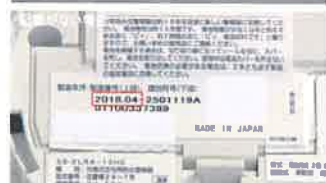
本体のボタンを押すか、付属の紐を引きます。
正常な場合、正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。
少なくとも年に2回は点検しましょう。
(春・秋火災予防運動の時期に実施することを推奨)

反応しない場合は、すぐに**交換**しましょう!

●交換の目安は10年

設置から10年以上の場合も**交換**しましょう!

設置年数は、設置の時に記入した設置年月や交換期限で確認できます。
記載がない場合は、製造年でおおよその時期がわかります。



当管内でも火災による死者が発生しています。

「まさか!」の火事、火災警報器で助かる命があります。万が一の時でも、火災警報器があれば、いち早く火災を知らせてくれます。

